

2026年度 日本留学試験（第2回）

受験上の注意 別紙

以下のことについて、特に注意してください。

本人確認のため、必ず有効な在留カード（または特定在留カード、特別永住者証明書）、パスポート、マイナンバーカードの原本（いずれか1点）を持ってきてください。



※本人確認書類を忘れた場合や、原本以外を持参した場合は、受験できません。

HBの鉛筆を使って試験を受けてください。



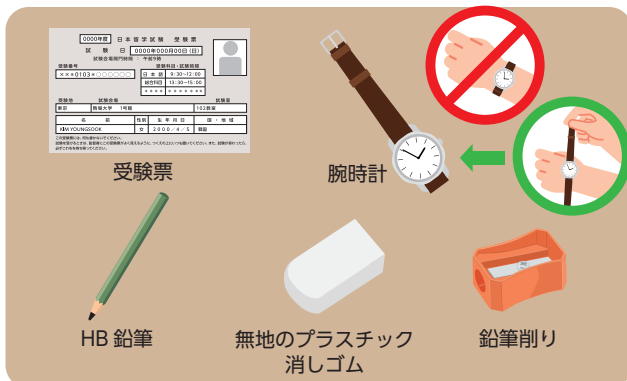
鉛筆キャップ



シャープペンシル、ロケット鉛筆

※鉛筆キャップは外してください。

机に出していいもの



※腕時計は腕から外し、机の上に置いてください。
※消しゴムケースは外してください。

試験中は、ものを食べたり飲んだりしてはいけません。



会場内にごみを捨てることはできません。
自分のごみは必ず持ち帰ってください。
例) お弁当、ペットボトル



試験会場や会場の周辺、バス乗り場などでは、タバコを吸わないでください。



よくある不正行為、気をつけたい不正行為

携帯電話など電子機器の音や、バイブ音が鳴った。デジタル時計の時報や、アラームが鳴った。



※音が鳴らないように設定してください。

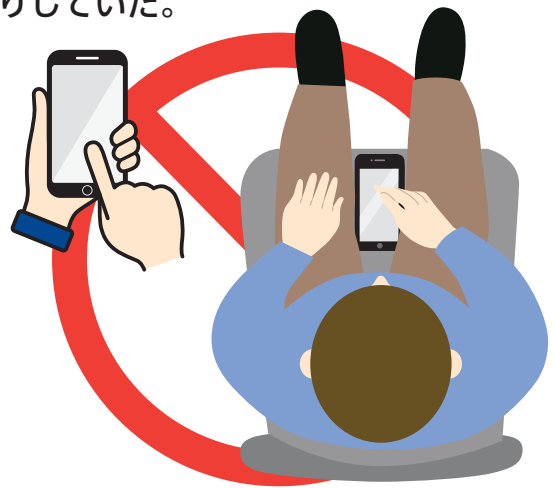
スマートウォッチなどの電子機器を身につけていたり、手に持っていた。



携帯電話などの電子機器をポケットに入れた。



電子機器をかばんにしまわずに机やいすの上に出していたり、操作したり、作動させていたりしていた。



イヤホンやヘッドホンをつけていた。首からさげていた。



カンニングペーパーや参考書、ノートを見ていた。



隣の人の解答用紙を見た。キョロキョロした。
他の人と話をした。

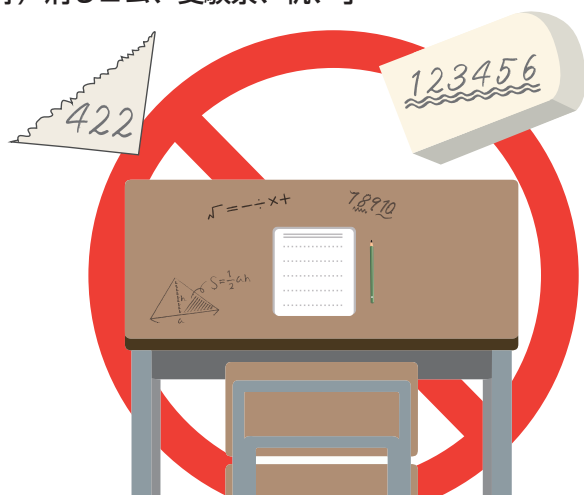


問題冊子や解答用紙を持ち帰ろうとした。
カバンに入れた。試験室から持ち出した。



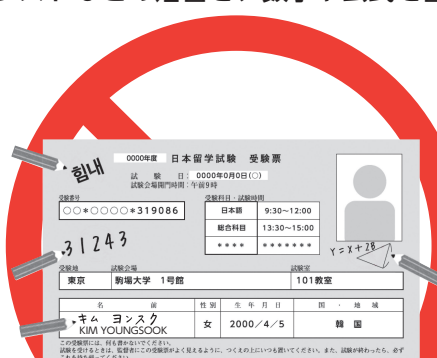
※犯罪です

試験問題や解答を書き写した。
例) 消しゴム、受験票、机、手



受験票に書きこみをした。

例) 名前の漢字やふりがな、メモ、
イラストなどの落書き、数字や公式を書いた。



電子機器を使って、試験問題を撮影したり、
録音した。他の人から答えを教わった。

例)



電子機能付きメガネ



スマートウォッチ



電子機能付きペン



小型カメラ

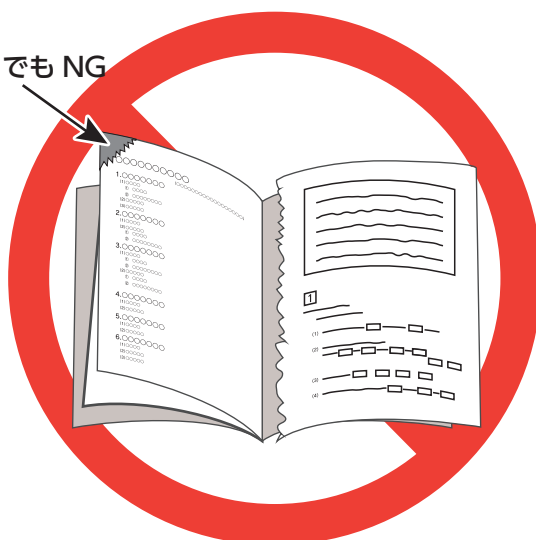


小型イヤホン

※犯罪です

問題冊子を切り離したり、破った。

少しでも NG



よくある不正行為、気をつけたい不正行為

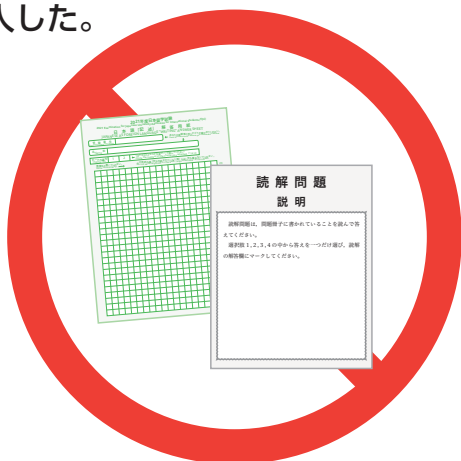
係員が「解答をはじめてください」という前に、問題冊子を開いたり、名前や受験番号や解答を書き始めた。



係員が「やめてください」と言っても、解答をやめなかった。
解答用紙を集める時にすぐに渡さなかった。



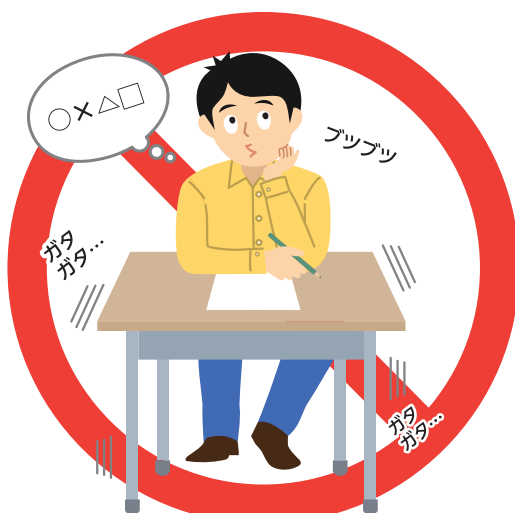
「日本語」の試験で、「記述」の時間に「読解」を解答するなど、他の領域の問題を見たり、マークシートに解答を記入した。



「日本語」の試験で、「聴読解」「聴解」の説明をしているときや、練習問題が流れているときに、練習問題以外の問題を見たり、解答した。



他の受験者の迷惑となる行為をした。
例) 机をガタガタさせる。ひとりごとを言う。



係員の許可なく試験室を出た。



※「日本語」の「聴解・聴読解」試験の間（音声が続いている間）は、許可を得てトイレや体調不良の理由で試験室を出た場合でも、「聴解・聴読解」の試験が終わるまで試験室に戻ることはできません。

